

2012 年度事業計画(2012 年 4 月 1 日 ～ 2013 年 3 月 31 日)

2012 年度は、財団創設 45 周年を迎える年であることを踏まえ、さらに創設 50 周年(2017 年)を見据えた新規事業として、「川井記念 OLIS アジア生命保険シンポジウム」を開催するとともに、引続き新たな事業の立上げについて検討を加え準備する年としたい。また、昨年発生した東日本大震災からの復興支援策として緊急実施した被災学生に対する奨学金給費を継続実施し、被災学生の修学を支援する。

従来施策の研修事業については、昨年震災の影響で中止した国内研修のうちの一部を復活するが、シンポジウムに注力するため海外現地セミナーは行わない。教育振興事業については、慶應義塾大学寄附講座に協賛するとともに、新たな大学での保険フォーラム開催を支援する。広報出版事業については、財団ホームページによる情報提供を拡充するとともに、アジア各国・地域の生命保険の発展に寄与しうる優秀な論文・書籍の出版に取り組む。

(1) 研修事業

①「川井記念 OLIS アジア生命保険シンポジウム」

財団創設 45 周年を記念して「アジアの人口動態と生保ビジネス」をテーマとしたアジア各国の生命保険関係者を対象とするシンポジウムを東京で開催する。英語を基本言語に各国参加者からのレポート、パネルディスカッションによる意見交換を中心とした内容で実施する。

〈シンポジウムの概要〉

日 程	2012 年 11 月 15 日(木)～16 日(金)
会 場	JA 共済ビルカンファレンスホール(千代田区平河町)
主 催	公益財団法人アジア生命保険振興センター
後 援	プルデンシャル生命、ジブラルタ生命、 プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命
使用言語	英語
参加料	無料
参加人数(予定)	アジア各国から 150 名
宿 泊	都市センターホテル(千代田区平河町)

②国内セミナー

昨年中止せざるを得なかった上海財経大学との協働による Chinese セミナーを、現地からの要望を受けて参加人数を従来の 40 名から 50 名に拡大して実施する。

セミナー名	開催時期	使用言語	参加人数
OLIS 2012 Chinese	2012 年 5 月 24 日～29 日	中国語	50 名

③海外現地セミナー

2012 年度は、国際シンポジウム、国内セミナーおよび新規事業の検討に注力することとし、開催しない。

④国際シンポジウム参加者への渡航費支援

国際シンポジウム参加者への渡航費支援を従来と同様の規模で予算化する。

(2)教育振興事業

①生命保険寄附講座

慶應義塾大学の寄附講座は、当財団とともにプルデンシャル生命およびジブラルタ生命が協賛し、2012 年度も「OLIS-プルデンシャル・ジブラルタ 生命保険寄附講座」として第 3 年度の講座を開講する。尚、2013 年度以降の継続を準備、検討する。

②保険フォーラム

新たに 1 または 2 大学との共催で開催する。

(3)奨学制度

①タイ奨学制度

2011 年度と同規模で、「タイ生命保険協会奨学制度」に協賛する。

②東日本大震災被災学生奨学金

2011 年度と同規模で、震災による被災が原因で、経済的に困窮し修学継続が困難となった優秀な学生に対して奨学金を給費、修学継続を支援する。尚、2012 年度は、理数系の学生を優先することとしたい。

(4)広報・出版事業

①有益な論文・書籍・情報の翻訳、紹介

アジア各国・地域の生命保険事業の発展に有益な論文・書籍・データを翻訳して提供する取組みを継続する。

②ホームページの活用

さらに有益で見やすくすることを目標に財団ホームページおよび保険フォーラムホームページ内容の充実をはかる。

③寄附講座講義内容の出版支援

慶應義塾大学で、現在実施中の生命保険寄附講座内容をまとめて出版する計画があり、これの出版経費を完成本購入の形で支援する。

(5)創設記念事業の検討

財団創設 50 周年(2017 年)に向けた新たな事業を検討し、準備する。引続き財団の運営委員会を中心に、広い視野に立って財団の使命に沿った新規事業を検討する。